

平成24年度 街かどケア滋賀ネット事業報告

1. 事業の概要

<事業概要>

平成16年度からの「くらし支え合いNPO・地域活動支援事業」（委託）と、昨年度からの事業である「しが地域支え合いづくり促進事業／施設・作業所の地域支え合い機能強化事業」（補助）を行った。その他会員交流会（見学）と研修会（上映会）を行った。

<事業内容>

「くらし支え合いNPO・地域活動支援事業」については、「地域での助け合い・支え合い活動」の理解の推進のためのフォーラムと、宅老所等の「助け合い・支え合い」活動拠点での中期運営支援のための講座を行った。また、あったかほ一むの活動支援として先進地の視察・研修を行い、さらに宅老所等の立ち上げや初期運営支援のためのアドバイザー事業を行った。

「しが地域支え合いづくり促進事業／施設・作業所の地域支え合い機能強化事業」については、「介護現場等での働き、その機会のインセンティブとなる資格認定制度のしくみづくりの調査研究」を引き継ぎ、「いきいき生活支援員」のしくみづくりを検討した。また、「障害のある人たちの介護現場・保育現場での雇用受入れQ&A集」の作成、介護事業所・保育の現場に勤務する障害のある人を対象としたスキルアップ研修(全4回)の実施、現在勤務している人や目指している人との交流会、障害のある人の職場適応と定着支援をテーマにした、受け入れ側のサポートの有効性についての研修会も行った。さらに、実際に働く人たちの活躍や受け入れ側の人たちの現場の声を伝え、障害のある人たちの働く場を拓くためのフォーラムを行った。

街かどケア滋賀ネット自主事業としては、下記の事業を行った。

「気仙沼みなとまつり応援ツアー」については、街かどケア滋賀ネットから2名が参加し、復興まつりの応援をした。

「会員交流会」については、甲賀圏域の会員3事業所を見学し、見学後の感想や報告などの意見交換を行った。

「小規模多機能ケア・認知症ケア研修」については、ほほえみネットこなんが主催・当ネットが共催した長編動画「毎日がアルツハイマー」の鑑賞と監督の講演会に参加をした。

滋賀県社会福祉協議会が運営する「滋賀県善意銀行」から車椅子を贈呈する施設・事業所の推薦依頼を受け、当ネットの会員5事業所を推薦し、滋賀県社会福祉協議会で贈呈式を行っていただいた。

NPO法人化へ向けて、しがNPOセンターの阿部様にご指導いただきながら定款を作成し、役員会において確認を重ね、修正を行った。2月に設立総会を行い、理事・監事が決定し

た。申請に必要な書類を役員の方々にご協力いただきながら準備し、4月26日申請を行った。一度だけ県からの修正連絡があったが、5月22日再度申請、受理され、現在縦覧期間となっている。縦覧期間は2ヶ月、7月21日までとなっており、その後、登記を行い、NPO法人としての活動開始となる予定である。

2. ネットワークの拡充

今年度も主に小規模・多機能ケアをめざす「地域サロン」や「あったかほーむ・たうん」、「宅老所」や「小規模通所介護」、「小規模多機能型居宅介護」や「認知症対応共同生活介護」事業所の立ち上げや運営支援を行い、ネットワークの拡充に努めた。

またネット単独、委託・補助事業とも、県や県社協、県内各市町、各市町社協と協働して実施した。各市町で活躍する他領域・他分野グループとの連携・協働は十分でなかった。地域サロン、子育て、生協、民生委員、環境活動などとの協働も十分ではなかった。

さらに会員交流会については上記のとおりであったが、十分な参加は得られなかった。

県外連携については、「全国ネットワーク近畿ブロック」との連携・協力は例年通り行ったが、「宅老所・グループホーム全国ネットワーク」との連携は十分ではなかった。

3. ネットワークの運営

(1) 役員会の開催

本年度の役員会は年6回開催した。（「くらし支え合い」の企画会議等と兼ねて実施）

また、各フォーラムや研修会の協議には各市町、市町社協の担当者の参加を得られた。

(2) 地域ブロックの活動

単独でも、2ブロック合同でも実施の報告はなかった。

(3) 事務局体制

特定非営利活動法人NPOワイワイあぼしクラブが行う「くらしカフェ」に置き、事務局員は非常勤専務1名、非常勤兼務2名で各事業の準備・運営・報告等の作業を行った。

4. ネットワークの事業

(1) 県域事業

① 総会および総会時研修

5月30日（水）に平成24年度総会を行った。

総会時研修としては「地域包括相談支援(ケア)情報提供」や「東近江市地域医療連携ネットワーク“三方よし研究会”ができるまで」他（滋賀地域自治研究センター理事

北川憲司さん) を行った。

② 現地訪問&会員交流会

前述のとおり。

③ 認知症ケア&小規模多機能ケア研修

前述のとおり

④ あったかほ一む・たうん事業への支援

世代や障害種別や生活分野を超えての、地域内での暮らし支え合いという観点から組まれた「あったかほ一む・たうんづくり事業」の支援については、今年度も「暮らし支え合い」事業を通じて、継続して行った。

⑤ 「いきいき生活支援員」関連事業との連携

「しが地域支え合いづくり促進事業／施設・作業所の地域支え合い機能強化事業」と連携して行った。

⑥NPO法人化の検討

前述のとおり。

(2) 地域ブロック事業

前述のとおり。

(3) 委託事業

① 平成24年度「暮らし支え合いNPO・地域活動支援事業」(委託)の実施 (別冊)

② 平成24年度「しが地域支え合いづくり促進事業」(補助)の実施 (別冊)

(4) 各種研修会や行政資料等の送付

全国ネットや県内各地域ブロックからの情報を各会員に定期的に、又は臨時に発送した。(9回/年)。

またそれ以外の緊急情報についても、事務局から、メールやFAX等でブロック代表、その他の世話人に随時発信し、ブロック内会員への転送を行った。

ホームページでは、12回の更新を行い、県内および県外へ発信した。